

豊橋市立南部中学校創立 70 周年記念事業趣意書

私たちの母校である豊橋市立南部中学校は、昭和 22 年に南部第一中学校として創設され、翌 23 年に南部第二中学校と統合し、「南部中学校」としての歩みを始めました。それ以後、現在に至るまで 3 万 3 千人を超える卒業生を輩出し、それぞれが校歌にあるように国や地域の発展を担う有為の人材として活躍していることは、同窓生として誇りに思います。

さて、私たち南部中学校同窓会は、これまで昭和 62 年に創立 40 周年、平成 9 年に創立 50 周年記念事業を催し、同窓の絆を深めるとともに、母校の一層の発展に寄与してきました。本年度、創立 70 年を迎え、改めて母校の歴史と伝統を振り返ったとき、母校の原点とも言える開校当初の「記録」や当時の諸先輩方の「記憶」や「思い」を受け継ぎ、未来へ伝えるためには、今を生きる私たちが「記録」と「伝承」の役割を担わなければならないという思いを強くもちました。また、大きな節目となる 100 周年に向けて、歴史とともに大きくなった同窓会組織を再構築することも私たちに課せられた責務であると考えます。さらに、現在、在校生は 750 名程となり、最盛期の 3 分の 1 程度の規模になったとは言え、私たち同窓生が受け継いできた南部中生としての「誇り」と「大志」を在校生に伝え、母校発展の礎をより確かなものとする支援も大切であると考えます。

このような考えから、70 周年を一つの節目とし、開校当時の記録と記憶の伝承及び同窓会組織の再構築を目的として創立 70 周年記念事業を計画し、校区自治会や学校・PTA 等の関係の皆様にご相談したところ、快く趣旨に賛同いただき、準備を進めてまいりました。

同窓生の皆様におかれましては、この趣旨をご理解いただき、豊橋市立南部中学校創立 70 周年記念事業に、絶大なるご支援・ご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

平成 28 年 10 月 29 日

豊橋市立南部中学校同窓会
会 長 小 野 真